

公益財団法人 日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団

2017年度 事業報告

1. 事業概況

当財団が長年取り組んできた「ニュー・シルクロード」構想の影響を受けた中国の総合対外政策「一帯一路」の影響が世界中に拡大。「ニュー・シルクロード」構想の構成要素でもあるクラ運河（タイ運河）、北極海航路開発、ITと融合した新たな交通輸送インフラ等の調査・研究テーマの周辺に様々な動きが生じ、それに対応した。

地球規模のエネルギー問題の解決に向けて、昨年度に引き続き、再生可能エネルギー・原子力発電技術等の分野を中心とした日露の経済・研究協力関係の構築を積極的に推進した。

2. 調査研究

2-1) 基本的事項に関する調査研究

- (1) GIF 構想対象プロジェクトの研究
- (2) 国際関係とインフラストラクチャーに関する研究

2-2) 個別プロジェクトに関する研究

(1) 地球環境改善

- アラル海地域の環境改善

(2) 資源・エネルギー問題

- 東ヒマラヤ水系水資源開発
- 原子力エネルギー等エネルギーインフラ開発支援
- エネルギー輸送インフラストラクチャー

(3) 交通運輸インフラストラクチャー

- ニュー・シルクロード開発研究
- クラ運河（タイ運河）プロジェクト
- 北極海域交通網整備・資源開発

(4) 生活領域の拡大

- オリノコ・メタ川流域総合開発プロジェクト

3. 国際会議の開催

4. 人材の育成その他

以上